

ようこそ新しい仲間!



10月半ばからデイサービスの生活相談員として勤務しています。70歳前後の職員が若い職員とともに、チームワークよく、てきぱきと明るく利用者の方に接している職場があったことに感動しています。【H. M】



コスモスに来て、約4カ月が過ぎました。コスモスに来てたくさんの方々にふれあい、様々な事を学ばせて頂いています。これからも、毎日笑顔の絶えない日々を皆さんと送れたらと思います。どうぞよろしくお願ひ致します。【E. S】

新しい年を迎えて



2011年は震災と原発事故に始まり、被災地の人達の辛さを考えると毎日が悲嘆と緊張の日々でした。何でも無い日常がどんなに尊いか、助けあい支えあうことが大切か、わかったような気がします。そして、原発について「怖い」という思いがありながら何もしてこなかった自分を反省しました。私達は一昨年から、横浜市災害看護ボランティアに登録し、研修や訓練に参加しています。昨年、神戸で行われた災害看護支援機構研修では、危機感を持って、より具体的に学びを深めることができました。2012年新しい年を迎え、仕事においても生活においても、本当に大切なものは何か、しっかり心に留めていきたいと思ひます。【コスモス寿 N. K】



11月3日文化の日にかねるひろば祭 毎年参加し健康相談会を開いています

ひろば祭



愛犬ジェニーと一緒に参加しました!

第40号

2012年 2月

<本部事務所>

〒111-0021 台東区日本堤1-12-6

訪問看護ステーションコスモス

TEL: 03-3871-7228

FAX: 03-3871-7229

URL: <http://s-cosmos.org>

E-mail: s.cosmos@cronos.ocn.ne.jp

発行責任者: 山〇真〇子

編集委員: 伊〇、塚〇、河〇、宇〇

<編集後記>

東京にも遅い初雪と共に積雪がもたらされました。寒さのためか、10日過ぎた現在も氷となって道路脇に積もっています。ふと枯れ枝に目を向けると、新芽のつぼみが大きく膨らんでいました。

春は、もうすぐそこまで

来ているのですね。【河〇】



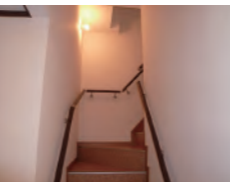
コスモス新聞 第40号 新春

こかげオープン!

支援付きアパート3軒目として「コスモスアパートこかげ」が昨年9月に開設しました。定員10部屋と大きめ世帯ですが、支援者・入居者が共に安心できる距離感の中、「入居者さんにとって良いと思える何かを」誰もが気兼ねなく自由に関われるアパートとして盛り立てていけたらと思います。【H. O】



↑ コスモスと反対の道路側に玄関があります



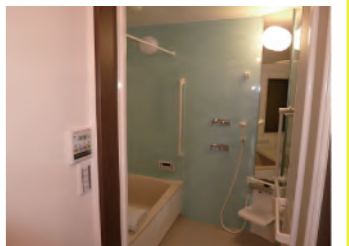
階段を昇ると…



共有スペースがあります

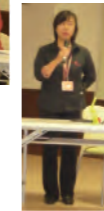


道路側の居室です



共同のお風呂場です

第1回 コスモスシンポ開催しました!



12年目を迎えたコスモスが、そろそろメッセージを外部に発信をという想いで、昨年10月29日に第1回コスモスシンポジウムが開催されました。企画から準備、実施に至るまで、メンバーの人たちと語り合いそして学び、とてもよい経験が出来たと思っています。看護師の竹内さんの言葉を借りれば、シンポジウムが「そよ風」ほどの力となりコスモスにとってまた新しい一歩に繋がればよいなと思います。【H. O】

ケアマネの現場から

ケアマネとしての関わりから 看取りまで

Ｔさんはコスモス初期からの利用者さんです。元気な時は旅館の帳場で働いていました。脳梗塞後にS旅館で生活をしていた時に出合いました。「僕の所にも入って欲しいなあ」と呼び止められたのが最初です。介護保険の申請をし、Ｔさんの生活をケアマネとして支援していました。自分の主張は曲げず、賭けごとが大好きで、多くの人達との争いが絶えることがありませんでした。賭けごとで生活費をすべて使い、八〇歳を過ぎてからの路上生活も経験しました。

「最期まで面倒を見て欲しい」とコスモスアパートに移り、自分の主張そして生活形態を貫き通しました。身体の状態が悪くなっても電動車椅子で出かけ、動けなくなりベンツに送ってきてもらったこともあります。入院や点滴を拒み、最期はタバコを美味しく吸い、コスモスアパートで息を引き取りました。最初の出会いより十一年が経過していました。

皆で「Ｔさんらしい最期だったね」と話し、Ｔさんは皆の声が聞こえているように、とても穏やかな笑顔で答えてくれました。

【M. Y】

忘年会



今年もフラダンスチーム&韓国舞踊チームが踊りを披露しました



「なだそうそう」で合唱チームとフラダンスチームがコラボしました

訪問看護の現場から

訪問看護の世界に入り、もうすぐ一年が経とうとしています。

青年海外協力隊として活動したラオスでは、病院は最期を過ごす場所ではなく、最期は自宅で迎えるのが普通でした。家族の繋がり・力、持って生まれた生きる力の強さを見せつけられました。

それとは逆に、助かるはずの命が救えない現実も見てきました。

そんな経験から、地域医療に強く関心を抱き、訪問看護の道を選びました。

利用者さんが、一番その人らしくいられる場所で、生活のお手伝いをさせていただく。

慣れた空間に、慣れた顔、慣れた食事。余命幾許も無いと言われながらも、穏やかに療養生活を送れているのも「自分の家」だからなのだと感じています。

自宅での自由気ままな生活を支えてあげたい気持ちと、看護師として、治療をもっと厳しく管理していくべきなのか、このケアが最善なのだろうかなど、試行錯誤の日々ですが、利用者さんとの関わりや、先輩方、他サービス提供者さんとの関わりを通して、利用者さんにとって良い看護が提供できるように頑張っていきたいと思っています。【S・N】



コスモスハウス おはな通信

今回のおはな通信は午後の作業風景をご紹介します。

おはなでは、二時頃からリビングで入居者さんやコスモスアパートの方が集まり、スタッフだけではとても間に合わない作業をお手伝いしていただきます。

お針仕事が上手なYさん、丁寧に新聞折りや広告で工作を下さるTさん、Kさん、お茶パックやビニール袋をきれいに仕上げ下さるSさん。



いつも皆様に助けて頂いています。

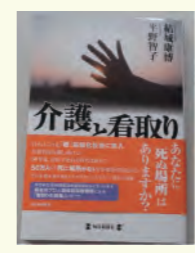
おはなの午後はお手伝いして下さる皆様のやさしさが溢れる、静かであたたかなひと時です。私達スタッフはそのような穏やかな日常の生活を、何よりも大切にしたいと願っています。【Y・H】

コスモスの種



本を出版しました

【介護と看取り～ 老後をどう生き「最期」をどこで迎えるか】
結城康博・平野智子著 毎日新聞社



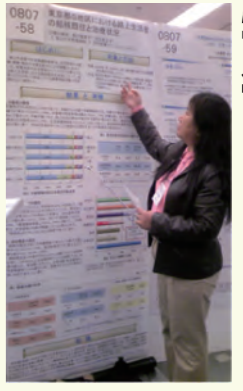
訪問看護をはじめから十年という月日が過ぎ、多くの方々と関わらせていただきました。特に、終焉を迎える利用者とそのかたわらで支える家族からは、実に多くのことを学ばせていただいています。

数々の心に染み入る言葉や出会い。その一つひとつを風化させてはならないと思いながらも現場の忙しさを理由に前だけを向いて看護をしてきました。

そのようなときに、「看取り」をテーマに執筆する機会を頂きました。承諾したにも関わらず、書籍にするために執筆の経験がない私に書けるのかと、不安が募りました。しかし、書き始めてからは、天国から皆が背中を押してくれているかのように、不思議と文章が湧き上がってきました。本に登場した方々との出会いがなければ、決して書くことはできませんでした。改めて故人の冥福をお祈りすると共に、心からの感謝の気持ちを捧げます。【S・H】

学会に

参加しました



二〇二一年一〇月十九日から二十一日まで開催された、日本公衆衛生学会 in 秋田にて健康相談で活動している、結核についてまとめ発表してきました。今回の活動のまとめには、いつもボランティアで健康相談の手伝いをしてくださる富山大学の城川さんの力を借りて報告させていただきました。【U&M】

デイサービスの一日

今年も区内二校の中学校から、計四名が職業体験に来ました。一日目は中学生も利用者さんも少し緊張気味。お茶を出したり、荷物を運んだりetc…。慣れない事を一生懸命やっていました。二日目は昨日行った仕事と脱衣所でのドライヤーがけ。利用者さんに「髪乾かしますね。熱くないですか？」と声かけしながら仕事をし、三日目の最終日にもなると、中学生の方から積極的に利用者さんに声かけする場面も…。微笑ましい光景もみられました。レク活動のゲーム大会では、利用者さん達と真剣勝負！わいわい、ガヤガヤと楽しいひととき。今日が最終日と知ると、利用者のSさんは別れを悲しみ涙ぐむ場面も。来年はどんな中学生と出会えるか楽しみです。【Y・H】



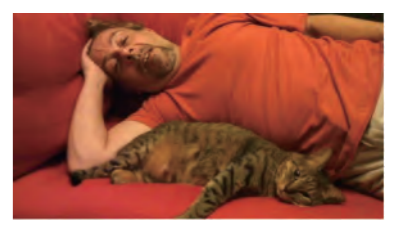
我が家自慢のペットコーナー

～K看護師&Pさん宅のねこちゃんの登場です～



アリスとウィリーはとても仲良しです♪

我が家の可愛い子どもたちです！
野良ちゃんや虐待を受けた猫ちゃんたちを保護している滋賀県のジャパン・キャット・ネットワークという団体からやってきました



エイジは膝下から両方の後ろ足がありません…。でもソファやベッドなら簡単に登れます！

お香附を

- 中○正○さま
- 山○隆○さま
- 栗○達○さま
- 白○直○さま
- 茂○直○さま
- 千○幸○さま
- 青○恒○さま
- 村○文○さま
- 高○健○さま
- 高○正○さま
- 齋○の○子○さま (加湿器2台)
- 日本基督教団千葉教会さま
- 新宿「ミニニティー」伝道所さま



《皆様からのお香附を お待ちしています》

★この間…下着・衣類 靴下 (中古可)

使い古したオル

